

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和8年6月8日

事業者名: 株式会社 小栗建設

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	太陽光発電設備の活用、環境配慮型建設機械の使用を通じて環境負荷低減に取り組んでいる。		⑬気候変動に具体的な対策を, ⑫つくる責任 つかう責任, ⑮森の豊かさも守ろう	再生可能エネルギー使用率60%以上を継続(令和7年度)	指標	再生可能エネルギー使用率
					目標	令和10年度まで再生可能エネルギー使用率60%以上を継続する。
社会	全社員参加による地域奉仕活動を毎年継続して実施している。		⑪住み続けられるまちづくりを	平成25年より地域奉仕活動を毎年1回継続して実施している。(計13回(本年度除く。))	指標	全社員参加の地域奉仕活動
					目標	令和10年度まで継続して毎年1回実施し、地域貢献活動を推進する。
経済	DX化による業務管理の効率化。		⑨産業と技術革新の基盤をつくろう, ⑪住み続けられるまちづくりを	令和3年度より勤怠管理システムを自社開発・運用及び各種契約を電子契約に適宜移行。契約業務のDX化移行率20%	指標	勤怠管理システム 契約業務のDX化移行率
					目標	令和10年度まで品質管理及びICT・DX活用を継続し、高品質な施工サービスの提供に取り組む。契約業務のDX化以降率25%
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ ・SDGs達成に向けた取組内容及び目標を社内で共有 ・ISO9001及びISO14001に基づくマネジメントシステムを活用し、計画・実施・確認・改善（PDCAサイクル）による継続的な改善を実施				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 下記URLにて取組宣言ページを公開。 https://ogurikensetsu.jp/company/publics-2/				